

MDJ プレス・リリース – ファイナル・レポート

A+A 2019 国際労働安全機材・技術展
ドイツ・デュッセルドルフ
2019年11月5日～8日



過去最大、出展 **2,121** 社、ビジター**73,000** 名で開催

労働安全衛生は今後の最重要課題にランク付けされ、市場性もより高まる

A+A 2019 は職場の安全と健康に関する世界最大かつ最重要イベントである。このことは 11 月 5 日～8 日に開催された [A+A 2019 \(国際労働安全機材・技術展\)](#)、および併催の労働安全および労働衛生に関する国際的なコンGRESS (International Congress for Occupational Safety and Occupational Medicine) により、見事に証明された。計 63 か国から **2,121** 社が出展参加し、新たに 1 ホールが追加使用された計 **10** の展示ホールで、過去最大 **78,000** m²超に出展、来場者の **50%** がドイツ国外となる業界関係者 **73,000** 人超を迎え、世界 **No.1** の労働安全衛生の見本市はあらゆるデータで過去最高記録を達成した (前回 **2017** 年 : 出展 **1,930** 社、来場 **67,000** 名)。

成功要因の持続可能性 : 良質な仕事の根幹



持続可能性が **A+A** で扱うテーマの牽引役であることも証明された。そして「持続可能な繊維製造 (Sustainable Textile Manufacturing)」や「グローバルサプライチェーンの公正さ (Fairness in Global Supply Chains)」などのテーマで、当見本市およびコンGRESSの新イベントの一部として展開されるだけでなく、今後さらに領域を拡大していくであろう。総合的な予防的文化が必要とされていることを活かして、**A+A** は現在の最重要課題である持続可能性によって特徴づけられた。これは持続可能性が健康的で安全な労働の根幹を成すためである。主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、W.ディーナーは、職場の安全、セキュリティ、健康に関する主要な当国際見本市の終了時に「過去 4 日間にわたる **A+A** の実践で、私たちのモットー『**People Matter** (従業員に関わる問題)』が、どれほど実際に活気づいたかに感銘を受けました」と開催の成功を伝え、「デジタル化や人口動態変化による職場の変化や、迫りくる変化に対する解決策を求める人々が、デュッセルドルフ以外で解決策を見出すことは難しいでしょう」と述べた。

そしてこう見える：仕事の未来

実際に出展者の出展製品群や、7つの特別ショーと専門会議による併催イベントの広範なラインアップは、企業の健康管理から個人用防護、職場デザインまでの総合的な予防的文化のあらゆる側面をカバーした。同産業が新たな技術的可能性の徹底した活用をこれまで以上に図っているからこそ、見逃がせないのは労働環境のデジタル化のためのイノベーションであった。展示されたのはデジタル展示品で、主に仕事の未来（Future of Work）のハイライトルート（Highlight Route）エリアや新たなスタートアップゾーン（START-UP Zone）内に設けられた。これらには協働ロボット（Cobots）や外骨格の実用化コンセプトだけでなく、いくつか例をあげれば、有害物質管理やインタラクティブ作業服、仮想現実トレーニング用途向けスペシャルアプリなど、個人用防護のためのスマートな解決策も含まれた。

広範な国際的展開力は良質な仕事に対するグローバルな必要性を反映

健康的な従業員はグローバルな目標である – これは今年、137か国からA+Aに来場した海外ビジターの安定的な割合によって明示された。同様に、海外からの出展参加者の高い割合も11月5～8日の職場の安全と健康に対する世界的な関心の高さを反映した。A+A出展者2,121社のおよそ70%（新興企業からグローバル企業まで）が、オーストラリアや日本、中国、ロシア、タイ、インドから欧州全土や南アフリカ、そしてもちろんブラジルや米国に至るまで、海外からの参加であったことは驚くに値しない。

PPE（個人用防護具）は引き続き急成長

OSH（職業安全衛生）中心に全テーマに対する国際的関心が高まる中で、その恩恵を受ける一つの部門はPPE（個人防護具）の分野である。同分野の今回の出展者は1,100社を上回り、伝統的にA+Aの最大分野となっている。市場調査会社macromが実施したドイツのPPE（個人用防護具）市場に関する最近の調査によれば、ドイツのPPE市場規模は2016年19.2億ユーロから2018年22.3億ユーロに拡大した。A+A 2019のディレクター、B.ホーンは「企業が従業員の保護と教育の態勢を強化していることから、PPE市場は引き続き利益を得ています」と述べ、A+Aで提示され当部門の革新力を再び反映した防護具や防護服の多種多様なシリーズについてコメントし、「そのためPPEメーカーとサプライヤーは、総合的な解決策を保有する戦略的なコンサルティングパートナーとして、さらに自らを売り込んでいます」と続けた。また、PPE販売に好都合な他の要因には、当市場が多く数の解決策を提供する高齢労働者の増加、製造における最新支援システムの導入、防護具の処分コンセプトの開発だけでなく、社会的かつ環境を配慮した製造条件への関心の高まりも挙げられる。

世界中から A+A コンgressに参加したビジター

約 5,200 人のビジターが来場した労働安全および労働衛生に関する第 36 回 Congress では、出席者数の顕著な増加が記録された。これは同 Congress がドイツの重要な業界団体である Basi (Bundesarbeitsgemeinschaft für Sicherheit und Gesundheit bei der Arbeit e.V. : ドイツ連邦労働安全衛生協会) が主催してきたことが大きな要因と言える。Basi のマネージング・ディレクター、B. ツヴィングマンは、「私たちはパキスタンやミャンマー、バングラデシュだけでなく、東欧からの海外ビジターとのやりとりの増加も大変嬉しく思っています。そして、OSH ルールのグローバルな適用について彼らと議論しました」と述べている。デュッセルドルフの CCD Congress センターにおける当イベントは初日から盛況で、例えば、筋骨格システムのひずみ測定の新たな手順や、仕事上で障害を抱える人々を支援する最新技術開発などの話題に関する講演や展示、『世界の良質な仕事 (Good Work Worldwide) 』に関するパネルディスカッションにおいて、有名ファッションデザイナーのガイド・マリア・クレッチマーによるワークデザイン経験のシェアなどが行われた。Congress の最後にはモットーを読み、OSH の学生と共に『私にとっての良質な仕事の意味するのは・・・』と題した Basi の初回予防スラム (Prevention Slam) で幕を閉じた。

日本からも 19 社が出展

今回、日本からは新規出展 7 社を含む 19 社 (前回 19 社) の企業が出展し、自社製品の商談、PR の場として同展を利用した。日本出展企業からも A+A に対する以下のポジティブなコメントが寄せられた。

防塵マスクを出展した[株式会社重松製作所](#)のコメント

「ホール 5C10 にて出展させていただきました。他のホールからのアクセスが良く、ブースの広さも弊社にとって適正でした。次回もぜひこのブース位置で出展したいです。ヨーロッパ各国からマネージャークラスのポジションの方々に弊社ブースに足を運んでいただきました。具体的な内容は申し上げられませんが、今後新規の取引として次に繋げていきたいと考えています」



マスクフィットテスターを出展した[柴田科学株式会社](#)のコメント

「国際的なイベントで欧州以外の企業とも商談機会を得ました。初出展で、ブースの設置場所には恵まれなかったが、それでも 20 社を超える潜在顧客との面談が実現した」

手袋を出展した[アトム株式会社](#)のコメント

「前回に比べ新規来場者が多く、収穫の多い出展となりました。新規来場者と商談ができたため、新規顧客獲得の可能性が上がりました」



日本から繊維関係者の来場者グループも参加



今回も前回に引き続き、「繊維ニュース」を発行する[ダイセン株式会社](#)が、約 60 名の繊維ビジネス関係者のツアーを主催し、会場視察を行った。ツアー参加者の初日到着時には、A+A 2019 ディレクターの B.ホーンが今回の A+A の見どころを紹介するとともに歓迎の挨拶を述べ、遠路、デュッセルドルフに訪れたご一

行に深い感謝を表した（写真はツアー参加者との集合写真）。

ツアーに参加したユニフォームの業界関係者は、価格が優先される日本の業界現況と違い、安全性、ファッション性が優先される欧州のユニフォーム事情に新鮮な驚きを覚えたコメントした。

次回 2021 年の A+A は 10 月 26 日～29 日の会期でデュッセルドルフにて開催される。

A+A の最新情報は以下の公式サイトにて。

<https://www.aplusa-online.com/>

A+A に関する日本でのお問い合わせは：

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp <https://aplusa.messe-dus.co.jp>